

各常任委員会の報告

建設委員会

9月定例会で付託された議案4件について報告する。

◆水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

問 事務量の増加があるのか。

答 現行は水道法で規定されているが、第二次一括法により条例で規定することとなったので、事務量に変化はない。

問 資格基準の設定根拠は。

答 現行運用の水道法施行令を基に資格基準を定めた。

◆24年度一般会計補正予算(第2回)

問 森林管理道新設改良事業委託料の3路線の内容は。

答 吉田栗野山線工事延長300m、石神沢線工事延長150m、大滝大達原線工事延長380mである。

問 森林管理道の開設は地元町会からの要望か。

答 3路線とも要望されたもの。

問 道路維持管理事業の内容および中央79号線測量業務委託料、大滝17号線の内容について。

答 管理事業は、秩父郵便局裏側にある市の分室の借地期限が終了し返還になるため、反対側の市有地に10年間のリース契約で建物を借用すること。79号線は、国道140号の秩父斎場入口から市の

舗装プラントまでの延長640m、幅員9mで片側歩道を予定する。大滝17号線は、施工延長102m高さ15mの落石防止網で70cmの岩を吸収できるもの。

問 中央通線街路整備事業の買収内容について。

答 本町ふるさと館から矢尾交差点までの総延長515m、面積ベースで46%の買収を予定、基本的には両側の歩道整備にともない両サイド買収だが、一部本町地内で片側のみの買収がある。

◆24年度駐車場事業特別会計補正予算(第1回)

◆24年度水道事業会計補正予算(第1回)

問 安谷川浄水場および大血川浄水場改修工事の内容は。

答 安谷川浄水場は3池あるうちの1池にろ過材再生工を追加工事するため。大血川浄水場は、要望により工事区間を200m延長するものである。
○以上4件は原案のとおり可決



森林管理道新設改良事業の栗野山線の現状

生活産業委員会

9月定例会で付託された議案7件について報告する。

◆字の区域を変更することについて

◆建設工事委託協定の締結について

問 下水道センターの施設の概要、能力についての簡単な説明を求む。

答 短辺が10.8m、長辺が20.8m、地上1階、地下2階、階層高12.3mの施設。既存の施設は4万m³までの処理能力、新施設は高速ろ過処理を付加し、最大で7万8千m³まで処理できる。
○以上2件は原案のとおり可決

◆24年度一般会計補正予算(第2回)

問 環境衛生費の工事請負費、墓所造成工事によつて、広見寺にある市有墓地の長年の懸案事項についてはどうなのか。

答 広見寺から墓所内をきれいにして返してもらいたいとの要望があり、平成12年から整備を進めている。寺内の無縁墓地を更地化し中から出てきたお骨を納骨する墓所を聖地公園内に造成する。

問 農業施設費の龍勢会館費、工事請負費の映画「草の乱」オープンセット4棟のうち、2棟を解体残り2棟を改修と別項目になっているが一括した表現にできないか。

答 補正予算に関する説明書の中を「映画草の乱オープンセット解体・補強工事146万4千円」に

する。
問 観光費の中で、ちちぶ観光機構への運営資金貸付金、5千580万円を観光機構が金融機関より借入することはできないのか。

答 出資者である秩父市が救済する形で貸付を行う。スポーツの森の運営は同機構から切り離し、市の指定管理施設として委託するようにする。

意見 ちちぶ観光機構が運営している秩父まつり会館も過去5年間赤字であり、再建の計画が見えてこない。この状況では、この貸付に賛成できない、との意見が出された。

○挙手多数により可決。
◆24年度下水道事業特別会計補正予算(第1回)

◆24年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

◆24年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)

◆24年度公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)

○以上4件は原案のとおり可決



「草の乱」オープンセットの現地調査の様子

各常任委員会の報告

文教福祉委員会

9月定例会で付託された議案4件・請願1件について報告する。

◆24年度一般会計補正予算(第2回)

問 幼・保・小連携体制研究事業委託金の内容は。

答 幼・保・小連携体制研究事業は、吉田小、吉田保育所、吉田幼稚園を対象にした事業である。現在、「小1プロブレム」という問題、小学校に入学した子ども達がなかなか学校生活になじめず、人の話を聞かない、授業中に歩く、集団生活ができないという問題が注目されており、園児と児童の交流や職員との交流などを研究するものである。

問 笠鉾・屋台特別飾置委託料の内容は。

答 12月の本祭りの際に、1日もしくは4日の日に飾置する事で協議して当初予算に30万円計上したが、12月1日に特別公開として屋台の曳行も行う事になり135万円を4町会分追加した。

問 放射能測定器の購入について。

答 危機管理対策の会議において放射能測定器を購入することを検討し、予算計上することになった。学校給食の食材の検査を中心に、公立の保育所等でも行うことを考えている。

問 生活保護受給者の人数は。

答 6月30日現在の受給者数は、651人。平成23年度の被保護人数は652人で、22年度は601人である。

◆24年度国保特別会計補正予算(第1回)

問 繰越金が約2億8千万円で、一般会計繰出金も約1億円であり、どちらも高額なので、そのお金を積み立てて、国保税を引き下げる方向に検討するなどできないか。

答 形式的に2億8千5百万円の繰越金になっているが、一般会計から8億1千6百万円を繰入している。実質的には4億3千8百万円程度の赤字となっている。一般会計繰出金については、赤字を借り入れており、残金が出た場合は翌年度に返金することになる。あくまでも赤字にならないために借り入れているものである。

◆24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

問 原案のとおり可決

◆24年度介護保険特別会計補正予算(第1回)

問 挙手多数により可決

〈請願〉

◆国に対して埼玉県立大学に医学部新設を求める請願

○採択

特別委員会報告

議会改革特別委員会

議会の組織・運営等に係る調査、研究として7月2日・8月6日に委員会を開催し、以下の項目を協議した。

【一般質問の際の当局答弁書の提供について】

一般質問の当局答弁の確認または、数字等の確認の意味と、2回目以降の質問をスムーズに行うために「一般質問時の1回目の質問終了時に当局答弁書を渡せないか」について協議した結果、「議会のやりとりは自由に行うのが原則であり基本的にはいけない」との意見が多数を占めたため、当局答弁書は求めないことに決定した。

【予算特別委員会について】

委員会を設置することは良いと思うが、会期日程の問題、委員、職員の負担等を考えると現時点での設置は消極的である。また、予算特別委員会、予算常任委員会を設置している近隣の自治体を視察し調査・研究していくことが確認された。

【議員の倫理について】

議長からの諮問事項として、去る5月20日に開催された議会報告会において「議員と町会長を兼任している問題」が指摘されたことにより、協議した結果、「地方自治法ならびに秩父市議会議員政治

倫理条例に照らし合わせ問題ない」との結論にいたった。

協議の中で、既存の秩父市議会議員政治倫理条例については、再検証する必要があることが確認された。

本委員会では今後協議していく項目は、【議会基本条例】と【予算審査特別委員会の設置】の2項目となり、来年の3月定例会の委員長報告を最終とすることが確認された。

決算審査特別委員会が設置されました

本委員会は、9月定例会に提出された、平成23年度の各会計決算の議案を、審査するために設置した特別委員会です。

秩父市議会では、2年に一度、決算審査特別委員会を設置し、閉会中に議案審査を行っています。

〈所属委員〉

委員長	落合 芳樹
副委員長	五野上 茂次
委員	上林 富夫
	木村 隆彦
	富田 俊和
	高野 宏
	山中 進
	大久保 進